

「柏市新型インフルエンザ等対策行動計画(案)」に対するパブリックコメント実施結果について

<実施概要>

1 募集期間

令和7年12月15日(月)～令和8年1月16日(金)まで

2 閲覧場所

柏市ホームページ

行政資料室(市役所本庁舎1階)

行政資料コーナー(沼南庁舎1階)

各近隣センター(23か所)

富勢出張所, 柏駅前行政サービスセンター

3 提出方法

受付フォーム, 郵送, 総務企画課窓口持参

4 結果

2名(2件)【内訳: 受付フォーム2件】

柏市新型インフルエンザ等対策行動計画(案)に対するパブリックコメント及び回答(案)

No.	該当項目	御意見	市の考え方	項
1	「学術知(ノウハウ)の重要性」について	柏は、どんなシナリオでも最も対応が早い街になって、柏モデルを全国に展開してほしい。関連研究機関が集中しており、また前回のコロナを通じて、保健所(中核都市として)や医師会との連携を密にとった経験があることから、学術知(ノウハウ)の重要性ということを盛り込んでいただきたいです。	柏市の強みである研究機関の集積や、専門家との連携体制について、今後の感染症対策においても極めて重要であるとのこと指摘を踏まえ、本計画案の「第3 行動計画等の実行性確保」の「2 柏市の強みを生かした対策の充実」の「柏市の恵まれた地域資源や学術知(ノウハウ)を最大限に～」と記述を追記いたしました。今後も、これらを最大限に活用し、実効性の高い対策を推進してまいります。	P22
2		<p>●意見内容</p> <p>本行動計画(案)では、施策の方向性や考え方について丁寧な説明がなされている一方で、計画期間を通じて何をどの程度達成するのかを示す具体的な目標や数値がほとんど見られません。そのため、計画終了時において成果や課題を客観的に検証することが難しい構成となっている点を懸念します。施策の性質上、成果を厳密な数値で示すことが困難なものがあること自体は理解できます。しかし、だからといって目標や評価基準を示さないままでは、行動計画としての検証可能性が確保されず、「実施したかどうか」の確認にとどまってしまう。これでは、計画の有効性を判断することも、次期計画に向けた改善点を明確にすることも困難です。行動計画において重要なのは、必ずしもすべてを厳密な数値で管理することではなく、達成・未達成を一定の客観性をもって</p>	<p>本行動計画の実効性確保および評価指標について、ご指摘の通り、計画の内容を客観的に検証し、実効性を高めていく視点は重要であると考えております。</p> <p>本行動計画は、新型インフルエンザ等が発生した際、市がどのような手順や役割分担で対策を講じるかという「行動指針」を定めることを主眼としております。ご指摘のあった具体的な目標設定や資源確保等につきましては、「柏市健康危機対処計画」や「柏市感染症予防計画」等の関連計画において、本計画と整合を図りながら一体的に整備しております。</p>	—

		<p>判断できる基準を設定することであると考えます。到達水準、実施範囲、改善傾向など、施策の性質に応じた指標を用いることで、数値化が難しい取組についても検証は可能です。現行案のままでは、計画期間終了後に「一定の取組を実施した」という総括に終始するおそれがあり、市民への説明責任や行政内部での評価・改善の観点からも課題が残ります。</p> <p>【対案：目標設定・評価に関する改善提案】</p> <p>①可能な範囲で具体的な目標水準を設定すること</p> <p>数値化が可能な施策については、件数、割合、実施範囲などを用いて目標を明示する。</p> <p>②数値化が困難な施策についても、検証基準を明示すること</p> <p>到達水準（整備済・未整備）、実施状況（全地区・一部）、改善傾向（前年との比較）など、客観的に判断できる基準を設定する。</p> <p>③評価方法と見直しの仕組みを計画内に明記すること</p>	<p>柏市といたしましては、これらの関連計画と相互に連動した体制を構築することで、事態の変化に即応した実効性の高い対策を推進してまいります。</p>	
--	--	---	--	--

	<p>中間評価の時期, 評価結果の公表方法, 目標未達時の見直し手順をあらかじめ示し, 計画が実際に改善につながる構造とする。</p> <p>●参考(代替文案)</p> <p>①「関係機関と連携し～」</p> <p>→関係機関と連携し, ○年度末までに取組体制を構築する。計画期間中は, 年 1 回取組状況を点検し, その結果を公表する。</p> <p>②「啓発活動等の～」</p> <p>→啓発活動については, ○年度までに全対象地区で実施することを目標とし, 実施状況および参加状況を把握・評価する。</p> <p>行動計画は, 理念や方向性を示す文書ではなく, 実施状況を検証し, 改善につなげるための実務的な文書であるべきです。本計画が形骸化することなく, 実効性ある計画として機能するよう, 目標設定と評価方法について再検討されることを求めます。</p>		
--	--	--	--